2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ブロードマインド株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7343	URL	https://www.b-minded.com/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	伊藤　清
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員　財務経理部長	（氏名）	石井　満　　(TEL) 03 (5459) 3092
半期報告書提出予定日	2026年11月16日	配当支払開始予定日	2026年12月18日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,403	0.2	313	12.2	317	9.7	185	18.2
2026年３月期中間期	2,397	△9.3	279	85.2	289	78.2	157	208.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　114百万円(△22.7%)　2026年３月期中間期　148百万円(211.7%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	32.35	31.74
2026年３月期中間期	27.56	26.80

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	5,452	3,775	69.2
2026年３月期	5,355	4,046	75.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　3,772百万円　2026年３月期　4,051百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	69.00	69.00
2027年３月期	―	35.00			
2027年３月期(予想)			―	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,096	△3.6	480	△23.0	491	△23.0	320	△18.7	55.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　ー社（社名）ー　、除外　　１社（社名）Money With株式会社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,979,616株	2026年３月期	5,944,616株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	205,249株	2026年３月期	205,249株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,745,404株	2026年３月期中間期	5,704,359株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意 事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を ご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（中間連結損益計算書） …… 7
（中間連結包括利益計算書） …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり景気は緩やかに回復しました。しかし、中東情勢の緊迫化や国内における自然災害の影響、物価上昇の継続、さらに金融資本市場の変動等による経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移したため、生活者の中では足元の家計及び将来設計に対する不安感も益々醸成されつつあります。

経済環境や家計の「変化」をきっかけに多くのご相談をお寄せいただいたことに加え、資産形成に関する興味関心の高さ、及びマクロ経済環境の両面から資産形成に資する保険商品や投資商品については良好な販売環境にありました。

このような環境の下、「フィナンシャルパートナー事業」においては、コンサルティング組織の拡大を見据え、2026年４月には30名弱の新卒学生を採用し、第３四半期からの稼働開始に向けて教育・育成に注力しているほか、AIコンサルティングシステムのモジュールの1つであるヒアリングツールの利用をスタートしており、面談、業務効率化を目的としたシステム開発等を進めております。「不動産販売事業」においては、建築資材価格や人件費の高騰が進む中で、当初計画した利益水準を確保するための経営資源の最適化及び資産価値の最大化を優先し、開発を進めております。

以上を踏まえ、当中間連結会計期間における経営成績は、売上高2,403,117千円(前中間連結会計期間比0.2%増)、営業利益313,669千円(同12.2%増)、経常利益317,637千円(同9.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益185,881千円(同18.2%増)となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

・フィナンシャルパートナー事業

フィナンシャルパートナー事業では、新規相談件数は引き続き堅調で、資産形成商品の販売が好調だったことや、2026年６月に業務提携した株式会社オーネットからの送客と収益化が好調だったことにより、一時払生命保険の手数料体系変更による影響を受け生命保険の手数料は減少しましたが、金融商品仲介領域の手数料収入が伸展しました。また、生成AI活用による事務面における時間削減の実現から面談数の増加へ向けた取り組みを強化しており、さらに従業員の生産性向上と業務効率化を目的としたAIエージェントシステムの開発等を引き続き進めております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、2,333,611千円（前年同期比2.1%減）となり、セグメント利益は308,758千円（同2.9%増）となりました。

・不動産販売事業

不動産販売事業では、建築資材価格や人件費の高騰が進む中で、当初計画した利益水準を確保するために、出口価格の引き下げによる早期売却を回避しております。前期並びに今期に完成済の物件からの賃料収入のほか、物件仕入れ販売による売上を計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は、69,506千円（前年同期比410.3%増）となり、セグメント利益は4,910千円（同－%）となりました。

（注）増減率について、当中間連結会計期間・前中間連結会計期間の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」と記載しております。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は4,063,812千円となり、前連結会計年度末に比べ140,225千円増加いたしました。これは主に、マンションの建築工事が進捗し一部物件が竣工したことにより、販売用不動産が803,776千円増加した一方、仕掛販売用不動産が484,012千円減少したほか、売掛金が99,678千円、現金及び預金が42,112千円減少したことによるものであります。固定資産は1,388,382千円となり、前連結会計年度末に比べ44,024千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が20,522千円減少、有形固定資産が21,946千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,452,194千円となり、前連結会計年度末に比べ96,200千円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,577,701千円となり、前連結会計年度末に比べ366,421千円増加いたしました。これは主にその他の流動負債が195,363千円減少、賞与引当金が48,700千円減少したものの、運転資金需要等により短期借入金が600,000千円増加したことによるものであります。固定負債は99,460千円となり、前連結会計年度末に比べ794千円増加いたしました。これは資産除去債務が794千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,677,161千円となり、前連結会計年度末に比べ367,216千円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,775,032千円となり、前連結会計年度末に比べ271,015千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が185,881千円増加したものの、剰余金の配当により利益剰余金が396,016千円減少、その他有価証券評価差額金が79,244千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.2％(前連結会計年度末は75.6％)となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ42,112千円減少し、当中間連結会計期間末には1,246,257千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は88,558千円(前中間連結会計期間は904,569千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益315,127千円等があった一方、棚卸資産の増加額319,763千円、法人税等の納付93,624千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は168,133千円(前中間連結会計期間は79,006千円の獲得)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出66,200千円、投資有価証券の取得による支出102,353千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は214,579千円(前中間連結会計期間は260,592千円の使用)となりました。これは主に配当金の支払額395,919千円があった一方、短期借入金の純増額が600,000千円等があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月14日の「2026年３月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,369	1,246,257
売掛金	497,217	397,539
販売用不動産	952,232	1,756,008
仕掛販売用不動産	1,054,368	570,355
その他	131,398	94,925
貸倒引当金	－	△1,274
流動資産合計	3,923,587	4,063,812
固定資産		
有形固定資産	330,690	308,744
無形固定資産		
のれん	7,208	5,596
その他	185,175	185,232
無形固定資産合計	192,384	190,828
投資その他の資産	909,331	888,809
固定資産合計	1,432,406	1,388,382
資産合計	5,355,993	5,452,194

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	－	600,000
１年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	116,020	95,253
賞与引当金	248,315	199,614
返金負債	187,900	219,153
その他	639,043	443,680
流動負債合計	1,211,279	1,577,701
固定負債		
資産除去債務	98,666	99,460
固定負債合計	98,666	99,460
負債合計	1,309,945	1,677,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	657,025	662,372
資本剰余金	557,025	562,372
利益剰余金	2,974,709	2,764,574
自己株式	△176,020	△176,020
株主資本合計	4,012,740	3,813,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,628	△40,615
その他の包括利益累計額合計	38,628	△40,615
新株予約権	91	74
非支配株主持分	△5,412	2,275
純資産合計	4,046,048	3,775,032
負債純資産合計	5,355,993	5,452,194

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,397,668	2,403,117
売上原価	4,082	36,659
売上総利益	2,393,586	2,366,457
販売費及び一般管理費	2,113,945	2,052,788
営業利益	279,640	313,669
営業外収益		
受取利息	1,686	2,733
受取配当金	265	285
持分法による投資利益	6,124	2,051
その他	2,408	2,378
営業外収益合計	10,485	7,448
営業外費用		
支払利息	169	2,902
支払保証料	－	61
株式交付費	212	175
その他	232	340
営業外費用合計	614	3,480
経常利益	289,511	317,637
特別損失		
減損損失	7,768	－
事業譲渡関連費用	11,597	－
関係会社株式売却損	－	1,236
貸倒引当金繰入額	－	1,274
その他	3,416	－
特別損失合計	22,781	2,510
税金等調整前中間純利益	266,729	315,127
法人税、住民税及び事業税	44,534	76,891
法人税等調整額	73,841	44,135
法人税等合計	118,375	121,026
中間純利益	148,353	194,100
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△8,850	8,218
親会社株主に帰属する中間純利益	157,203	185,881

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	148,353	194,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	△79,244
その他の包括利益合計	203	△79,244
中間包括利益	148,556	114,856
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	157,407	106,637
非支配株主に係る中間包括利益	△8,850	8,218

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	266,729	315,127
減価償却費	41,151	29,908
資産除去費用	230	40
減損損失	7,768	－
のれん償却額	1,612	1,612
事業譲渡関連費用	11,597	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	1,274
賞与引当金の増減額（△は減少）	△49,188	△48,700
返金負債の増減額（△は減少）	△13,585	31,253
受取利息及び受取配当金	△1,951	△3,018
受取事務手数料	－	△1,273
支払利息	169	2,902
助成金収入	△1,000	△400
株式交付費	212	175
持分法による投資損益（△は益）	△6,124	△2,051
売上債権の増減額（△は増加）	127,114	99,662
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,103,115	△319,763
未払金の増減額（△は減少）	△55,951	△103,934
未払消費税等の増減額（△は減少）	△23,098	△15,794
預り金の増減額（△は減少）	△21,096	5,971
その他	△23,150	11,288
小計	△841,677	4,280
利息及び配当金の受取額	1,951	2,134
利息の支払額	△169	△3,022
助成金の受取額	1,000	400
事務手数料の受取額	－	1,273
法人税等の支払額	△65,674	△93,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	△904,569	△88,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	－	△5,195
無形固定資産の取得による支出	△42,440	△66,200
投資有価証券の取得による支出	△200,010	△102,353
資産除去債務の履行による支出	△1,740	－
会員権の取得による支出	△16,545	－
事業譲渡による収入	316,244	－
短期貸付金の純増減額（△は増加）	1,947	2,264
差入保証金の差入による支出	△27,902	△817
差入保証金の回収による収入	49,453	12,685
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	－	△7,243
長期貸付けによる支出	－	△3,500
長期貸付金の回収による収入	－	2,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,006	△168,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	600,000
長期借入れによる収入	20,000	－
長期借入金の返済による支出	△2,128	－
株式の発行による収入	5,185	10,499
自己株式の取得による支出	△43,357	－
配当金の支払額	△240,293	△395,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,592	214,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,086,155	△42,112
現金及び現金同等物の期首残高	1,983,173	1,288,369
現金及び現金同等物の中間期末残高	897,017	1,246,257

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	フィナンシャルパートナー事業	不動産販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,384,048	13,619	2,397,668	－	2,397,668
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,384,048	13,619	2,397,668	－	2,397,668
セグメント利益	300,093	△20,452	279,640	－	279,640

（注）１．セグメント売上高及びセグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引高消去額であります。

２．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

３．前連結会計年度末に報告セグメントの区分を変更したことに伴い、変更後の報告セグメント区分に基づき組み替えて表示しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	フィナンシャルパートナー事業	不動産販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,333,611	69,506	2,403,117	－	2,403,117
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,333,611	69,506	2,403,117	－	2,403,117
セグメント利益	308,758	4,910	313,669	－	313,669

（注）１．セグメント売上高及びセグメント利益の調整額は、セグメント間の内部取引高消去額であります。

２．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。